

国内クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 25 年 2 月 19 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	ボイラーの高効率化と天然ガス化による温室効果ガス削減事業
承認番号	JCDM-PJ0029
排出削減事業者名	アルバック成膜株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社三井住友銀行、三井住友ファイナンス&リース株式会社 (その他関連事業者名：株式会社サイサン)
事業実施場所	アルバック成膜株式会社 (埼玉県秩父市寺尾 2804 番地)
事業の概要	高効率のガスボイラーへの設備更新と A 重油から天然ガスへの燃料転換により、二酸化炭素排出量を削減する。
排出削減量の計画	2008 年度 185tCO <sub>2</sub> /年 2009 年度以降 784 tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 3,321tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット 認証期間	開始日 2009 年 1 月 5 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

### 2. 本実績確認の対象期間

2012 年 1 月 1 日～2012 年 12 月 31 日 (第 5 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	708 tCO <sub>2</sub> (2012年1月1日～2012年12月31日)
-------	--

#### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 承認排出削減事業計画通りのボイラーが導入されていることは、事前審査における訪問時に確認している。</li> <li>2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における燃料（LNG）購入実績の確認により確認している。</li> <li>3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることは、計画審査の際に確認済み。</li> <li>4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。</li> </ol>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、燃料供給会社の納品書に基づき把握されていることを確認した。</li> <li>2) 活動量の正確性については、燃料購入量の記録・保存が、燃料供給会社により発行された前月分請求書に記載された数量のエネルギー管理者による記録表への記入・ファイリングによって適切に実施されていることを確認した。</li> <li>3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。</li> <li>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であ</li> </ol>

	<p>ることを確認した。</p> <p>5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>算定期間は 2012 年 12 月 31 日までであり、2013 年 3 月 31 日を超えない。</p>

## 5. 特記事項

特になし

以上